

① 必要なものを準備しよう

種や苗、土プランターなど、必要なものは
園芸店やホームセンターなどで手に入ります。



③ 水やりは段階的に

苗が小さいうちは、水分を多くあげすぎないこと。
大きく育ってきたら、朝夕2回、たっぷりと。プランターの
底から流れ出るぐらいに水をあげましょう。

植え付け後、1カ月くらい

地中にしっかりと根を張る時期なので、土の表面が乾いたら、
たっぷりと水をあげるようにします。プランターの場合は、
底から水がしみ出るまであげます。

生長期

7月に入り、気温が高くなってきたら、1日1回、朝か夕方
にたっぷりの水をあげます。
猛暑時には、朝・夕2回の水やりが必要になることもあります。

② 種まき 4月～5月 苗の植え付け 5月頃

1 種から苗をつくる

種から植えるときは、少し大きくなるまで、ポットで育てた方が
安心です。

種を水に浸す

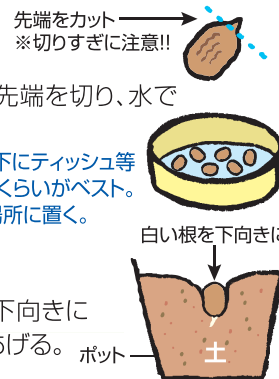
発芽を早めるために種のとがった先端を切り、水で
ヒタヒタにした小皿等に入れます。

※ポイント／①保水性を高めるため、種の下にティッシュ等
を敷き水に浸す。種が一部水からでているくらいがベスト。
②適温(25～30℃)を保つ。③種を暗い場所に置く。

種をポットに植える

種から白い根が出たら、白い根を下向きに
して植え、土を1cmほど被せ、水をあげる。ポット

※ポイント／①適温(25～30℃)を保つ。



2 苗の植えつけ

プランターに移す

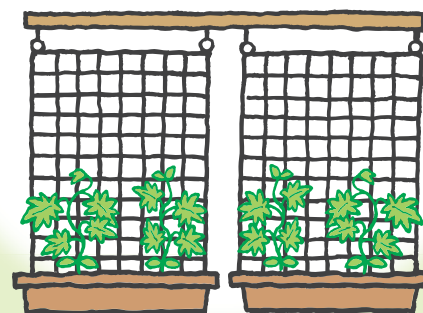
本葉が3～5枚になっ
たら、根元の土をくずさない
ようにポットからそっと出
して、間隔をあけてプラン
ターに植え替えます。植
え付けたあとは、水をたっ
ぷりあげてください。

プランターの底には、鉢底石や軽石などを敷
くと、水はけをよくし、根ぐされを防げます。
根が喜ぶ土の深さは30cmほど。土をほぐ
しながらふんわりとなるように入れましょう。



④ ネット張り 5月～6月頃

つるが伸びる前にネットを張ります。ネットの上部は、階上
のベランダの柵や手すり、軒先につけたフックなどにしっ
かり結びつけましょう。下部は、地面の場合は杭を打つか、
そうでない場合はコンクリートブロックやプランターを重
しに使用して、しっかり固定します。ネットは、風でゆれないよ
うにピンと張るのが良好な生育のポイントです。



ネットは10cmの網目がおすすめ。

⑤ つるの誘引 6月～8月

緑のカーテンでは、特に生長期(最初の2カ月位)に、つる
がネットにうまくからまって、つると葉がネット全体をおお
うように、つるを誘引(伸びてほしい方向に導くこと)する
必要があります。

つると葉がネット全体を覆うように、ひもや園芸用のテー
プ結束タイで、ゆるく結びつけ、横へ横へ導きます。

つるとネットをからめるときは、
ひもを8の字にしてつるとネット
を結びます。結び目はゆった
りと余裕を持たせておくと、つ
るがネットにすれて傷つきませ
ん。



緑のカーテンづくりに利用できる主な植物

ゴーヤ(ニガウリ)

種まき:4月～5月
苗の植え付け:5月～6月
収穫:7月～9月

アサガオ

種まき:5月～6月
苗の植え付け:6月
開花:8月～9月

ふうせんかずら

種まき:5月～6月
開花:7月～9月

きゅうり

種まき:4月～5月
苗の植え付け:5月～7月
収穫:7月～9月

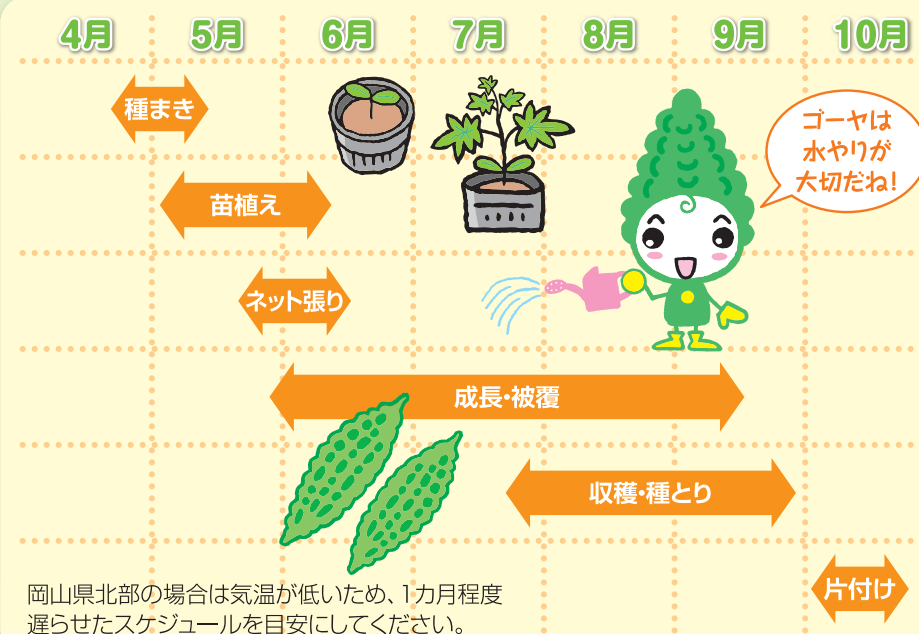
へちま

種まき:4月～5月
収穫:9月～11月

パッションフルーツ

苗の植え付け:4月～5月
開花:6月～9月
収穫:8月～11月

年間栽培スケジュール (岡山県南部の場合)



⑥ 摘心 6月～8月

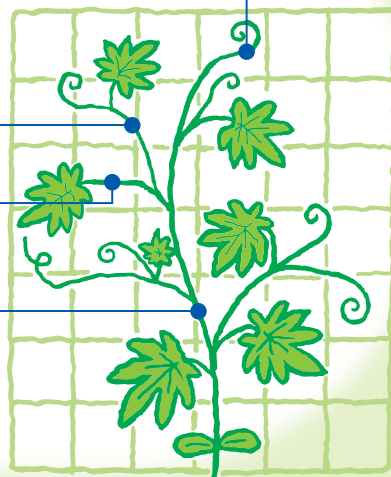
つるの先端が、つくろうとして
いる緑のカーテンの上端ま
できたら、親づるの先を2～3cm
切りましょう(摘心)。そうする
ことで、子づる、孫づるが元気に成
長し、ネット全体をおおいやす
くなります。子づる、孫づるも必要
に応じて誘引します。

親づるの先を切ってあげることで、
子づる、孫づるがぐんぐん伸びる

子づるからのびて
いるのが孫づる

親づるからのびて
いるので子づる

一番太い中心の
茎が親づる



⑦ 追肥 7月～8月

つるが伸び、大きく育ってくると、多くの養分が必要となり
ます。7月中旬～下旬の雌花の一番花が咲いた頃を目安
に、根元を避けて追肥します。その後も、実がなり始めた
ころから、3～4週間に1回ぐらい、定期的に追肥しましょ
う。液体肥料の場合は、即効性がありますが効果が続かない
ため、1週間に1回ぐらい追肥してください。



※肥料は販売店でよく相談し、
購入してください。

⑧ 収穫 8月～9月

ゴーヤは、種まきをしてから約2
カ月で収穫できるようになりま
す。熟して黄色になる前に収穫し
ましょう。結実してから2～3週間
ぐらいが食べごろです。



下ごしらえ

調理する前に、たて半分に切って、スプーンなどでワタと
種を取り除きます。苦みが気になる場合は、薄切りにして
水にさらす、塩でもむ、軽く湯通しするなどを行えば、苦み
が和らぎます。

保存

たくさん採れてすぐに食べきれない場合は、スライスにし
た状態で冷凍したり、乾燥処理しておけば、長期保存がで
きます。

⑨ 次年度に向けての準備

種とり 7月～9月

実の全体が黄色くなってきたら種をとみましょう。種をと
るときは、よく熟した実の種のまわりの赤いゼリー状の
ものを洗い流し、風通しのよい場所で陰干しし、乾燥させ
たら、密閉容器に入れて、冷蔵庫などで保管します。

片付け

10月になり涼しくなってきたら、葉も黄色くなってきた
ら、ネットにまきついて枯れた葉やつるをはずしましょ
う。ネットやプランターは翌年にもまた使えます。保管し
てとっておきましょう。

土

前の年に植物を育てていた土と同じ科のものを植える
と、連作障害が出る場合がありますので注意しましょう。